



# New Zealand

## ニュージーランド高校留学



友達をつくり、英語を話して、国際性が身に付く楽しい高校生活。  
もし行くなら、平和なニュージーランド。すばらしい高校生活が待っている。

### Study Abroad

#### ■親日的なニュージーランドの人々

ニュージーランドの特徴は、全国の人口が、わずか485万人であることです。これは東京都の約半分の人口です。この人口と、酪農、畜産を中心とした産業の歴史がニュージーランドを世界でもまれな美しい国に保ってきました。国の隅々までもが鮮やかな緑におおわれ、氷河をまとったアルプスも、エメラルドグリーンの湖も、今なお豊かな景観を保っています。都市景観も美しく、イギリスの伝統を受け継ぐ街クライストチャーチ、近代的都市であるオークランド、そして首都ウェリントンなど、この国を訪れる人々を飽きさせることはありません。

ニュージーランド高校留学は、学業の習得と、文化の交流を目的として、北島の国際都市として有名なオークランド、南島の都市クライストチャーチを中心に、教育省NZQAの留学規定にそった公立高校正規留学として、広く中学・高校生の皆様に参加して頂くことができます。

参加者は、各都市及び近郊の公立高校（セカンダリー・スクール・カレッジ）に留学をして、高校生活の中でこの国に対する視野を広げることができます。さらに、学校ごとに特徴を持つ課外活動やニュージーランドの文化活動にも参加できます。クラブ活動や、地域で開催されてるラグビー、サッカー、クリケットなどのスポーツ同好会にも積極的に参加して下さい。

NZQAによって規定された高校資格の取得によって高校課程を修了した生徒は、ニュージーランドの大学やカレッジ、日本の大学に進学することができます。海外からの留学生はこの国のですばらしい環境のもとで優れた成績を修めて充実した学校生活を送っています。

公立高校以外の留学方法として、私立の「セカンダリー・カレッジ高校留学」による中学・高校留学も選択できます。寄宿舎滞在による海外生活を希望の方には最適な留学方法です。



### New Zealand Life

#### ■生活に最適な気候と風土

ニュージーランド北島最大の都市オークランドの通年の最高気温は摂氏23度、最低気温は摂氏8度と発表されています。日本の季節感からすると、春と秋の季節の繰り返しのようです。「酷暑と厳冬」はこの地域にはないので過ごしやすい環境です。南島は冬時期は温度が下がる日がありますが、海に囲まれた島国なので、山岳地帯を除いて温暖な気候といえます。この国は治安が良く安心して居住できるので近年は海外からの留学生が増えています。文化面では、イギリスやアイルランドなど英国圏からの移民と、原住民であるマオリ族との文化が融合した「モザイク」と呼ばれる多面的でユニークなオリジナル・カルチャーが特徴です。

「のびのびと、ゆったりと」をモットーとするニュージーランドの人々は、明るく親日的な国民性をもって海外からの留学生を受け入れてくれます。日本語教育も盛んな国です。

エースの高校留学は、オークランド、クライストチャーチの他に、これら両市近郊のハミルトン、ワンガヌイ、タウポ、ネルソン、ダニーデン、ネーピアなど小都市にも受け入れ先となる高校があります。参加者の成績と英語力に応じた高校に留学手配を行うことができます。

#### ■国際色豊かで多彩な学校教科

ニュージーランドは移民による歴史で発展した国家です。イギリス系移民の多い南島のクライストチャーチは、街のシンボルとなったアングリカン大聖堂を中心に都市計画された英國オックスフォードを模した街が形成されています。ダニーデンはスコットランド系移民の多い町で、城があることで有名です。一方北島のオークランドは、イギリス系移民の他ヨーロッパ系移民やアイランダーと呼ばれる太平洋の島々のポリネシア系移民、アジア系移民も多く多様な生活様式を共有しています。こうした多民族文化を尊重する行事として、高校によって「インターナショナル・フェスタ」が開催されます。その期間中は民族衣装を着るなどしてダンスや楽器演奏などの伝統的な催しを学校の体育館で行って各国の文化を紹介します。日本の留学生も古里の民謡を歌ったり、お好み焼きのバザーを開催するなどして日本文化の紹介を行っています。

高校では言語教育も盛んで、中国語、フランス語、日本語などが第二言語として開講されています。また、森林学、農園学、環境学、畜産学など、この国の大半産業である分野の学問を高校の選択教科に取り入れているのが特徴です。

# Beautiful Country of N.Z.

## ニュージーランドの高校生活

### ■高校学年・学期制について

ニュージーランドの高校学年は、Year制が主で、最上級学年がYear13と称されます。一部の高校ではイギリス式のFormによる学年表示もあります。学期は「2セメスター/4ターム制」を取り入れています。1月～7月までの前期と、7月～12月までの後期の2学期でそれをさらに半分に分けた4期制が多いといえます。留学生受け入れに際しては多くの高校で、留学当初にその生徒の能力に応じた科目編成をしてくれる配慮があります。生徒の英語力の進歩に応じて徐々に一般科目へ移行できるケースが多く、無理なく高校での学習を進められます。多くの場合、日本の履修単位実績に応じた進級留学を実現することが可能になります。

### ■必修科目

英語（留学生は、英会話ESOL または IELTS）

数学（代数・幾何学、関数、統計、微積分）

理科（自然科学、生物、物理、化学、地学）

社会（政治、経済、地理、世界史、NZ史と文化）

プログラミング IT（理科、社会科の科目によるセミ・オプション学科とされる場合があります）

### ■選択教科

ガーデニング、農業、衣服・被服、合唱音楽、演劇、プログラミング、ダンス、製図、食物栄養学、日本語、マオリ語、ニュージーランド文化、中国語、木工、料理、金属加工、水彩画、ビジュアルアート、美術、旅行学 ※学校により異なる

### ■滞在方法

公立高校留学での滞在先はホームステイです。ホストファミリーとの良い関係構築が安定した留学生活を送る重要な要素になります。私立高校留学は、寄宿舎での滞在ができます。

### ■英語科目的サポート

ニュージーランドの高校では、留学生は、留学生のための英語科目として制定されたESOLクラスを履修します。ESOLは、実務的な高校英会話を授業の前提としており、この科目の履修で英会話力が初年度で一定レベルまで到達することが期待されます。



## ニュージーランドの教育制度について

ニュージーランドでは小学校の第一学年が、日本の幼稚園年長レベルで始まるために、日本の高校3年生が13年生になります。義務教育はYear11で終了しますが、多くの生徒はYear13迄学校に在籍します。

高校科目の履修内容は、バーサリーと称する教育制度から発展をして、現在はNCEAの検定資格に統一されました。この国の学期制はセメスター制クオーター（2学期制で、各学期が2タームに分かれる）4期制が多く取り入れられています。学校は1月末（又は2月）に始まり12月に終了します。

### ■ニュージーランドの学年制

N.Z.	小学校 Primary School		中間校 Intermediate School	中高等学校 Secondary School		専門学校 Polytec College	総合大学 University	大学院 Graduate Course
	9	10		11	12			
Year	2	3	4	5	6	7	8	1
日本	1学年	2	3	4	5	6	1	2

※理工系は大学4年制

小学校 中学校 高校 短大 大学 大学院



日本人の現地サポートで、安心です。  
家庭教師の学習支援、大学進学の相談指導、個性を尊重した教育で、充実の外国生活です。

## ニュージーランド高校留学申し込み要項

外国の高校へ留学したい生徒さん、海外の高校へ転校したい生徒さんなどなたでも、今すぐスタートできるニュージーランド高校留学があります。経済的な予算で長期留学ができるのが特徴です。

### ●入学時期

1月、4月、7月

### ●留学期間

1年間～卒業年まで

### ●申込受付中です

留学渡航の準備のために、できる限り早めにお申し込み下さい。

### ●応募資格

留学出発時において、中学生以上であること。

高校中退者の出願も可能です。

### ●英語能力

中級程度の英語力（事前の語学研修参加により重視しません）

高校入学までの現地事前語学研修参加及び、留学先高校での英語講座へ参加できます。

### ●緊急手配

上記締め切り日以降の高校留学申し込みも受け付けています。

別途お問い合わせ下さい。

### ●審査方法

書類審査、面接

お申し込みについては当社「高校卒業留学申し込みについて」冊子記載事項と明示の「高校卒業留学申し込み条件」によります。

